



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月2日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1481
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,190	△4.8	724	△34.8	698	△37.2	417	△44.4
2019年3月期第1四半期	5,454	15.7	1,110	8.5	1,112	9.5	752	12.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 444百万円(△42.7%) 2019年3月期第1四半期 774百万円(△30.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	36.41	—
2019年3月期第1四半期	65.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,988	20,667	63.5
2019年3月期	28,745	20,430	63.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 18,415百万円 2019年3月期 18,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	12.00	—	20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	10.6	3,400	8.3	3,200	5.0	1,800	2.7	156.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	11,500,000株	2019年3月期	11,500,000株
2020年3月期1Q	23,106株	2019年3月期	23,106株
2020年3月期1Q	11,476,894株	2019年3月期1Q	11,476,896株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の影響や海外経済の不確実性等のリスク増加により輸出や生産の弱さが継続しており、景気に足踏み感が見られました。

当社グループを取り巻く事業環境は、自動車市場や情報関連財市場では成長の減速並びにサプライチェーンにおける在庫調整が見られました。

電子材料は前年下半期以降の減速傾向の影響が現れ、当社販売は減少しました。ビタミンEや酸化防止剤等クレゾール誘導品関連市場では堅調な需要の継続が見られました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,190百万円(前年同四半期比4.8%減)、営業利益は724百万円(同34.8%減)、経常利益は698百万円(同37.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は417百万円(同44.4%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)や医療、航空機分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、国内LCP向け一部の在庫調整、及び輸出の出荷ずれ込み等により販売量が減少し、売上高は前年同四半期を下回りました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、ビタミンE・酸化防止剤需要共に引き続き堅調に推移し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は2,436百万円(前年同四半期比6.3%減)、総売上高に占める割合は46.9%となり、セグメント利益は321百万円(同26.0%減)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、中国経済の減速等の影響を受け半導体・フラットパネルディスプレイ関連の在庫調整が進んだ結果、売上高は前年同四半期を下回りました。

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(自動車用部品、光学・電子部品用途向け)や特殊エポキシ樹脂(半導体封止材、積層板用途向け)の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、光学レンズ向け特殊ビスフェノールが堅調に推移し、また成形材分野の出荷が増えたことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、1,081百万円(前年同四半期比5.0%増)、総売上高に占める割合は20.8%となり、セグメント利益は157百万円(同37.4%減)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

自動車部品用途向けの特殊ポリカーボネート樹脂の原料に使用される特殊ビスフェノールは、主に海外生産拠点のハイビス社において製造販売しております。

当第1四半期連結累計期間においては、為替変動の影響に加え、自動車市場全般の落ち込みの影響を受け、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受託品の売上高はほぼ前年同四半期並みとなりました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、1,547百万円(前年同四半期比8.8%減)、総売上高に占める割合は29.8%となり、セグメント利益は464百万円(同17.1%減)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は124百万円(前年同四半期比1.8%減)、総売上高に占める割合は2.4%となり、セグメント利益は13百万円(同8.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は28,988百万円となり、前年度末に比べ242百万円増加しました。これは流動資産が、現金及び預金の増加(904百万円)、売掛金の減少(483百万円)等により、前年度末に比べ577百万円増加し、18,967百万円となったこと、また固定資産が、機械装置及び運搬具の減少(333百万円)等により、前年度末に比べ335百万円減少し、10,020百万円となったことによります。

負債は8,320百万円となり、前年度末に比べ5百万円増加しました。これは流動負債が、買掛金の増加(695百万円)、設備関係未払金の減少(718百万円)等により、前年度末に比べ0百万円減少し、5,432百万円となったこと、また固定負債が前年度末に比べ5百万円増加し、2,887百万円となったことによります。

純資産は、20,667百万円となり、前年度末に比べ237百万円増加しました。これは利益剰余金の増加(211百万円)等によります。

この結果、自己資本比率は前年度末と同水準の63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,138	8,042
売掛金	6,092	5,609
商品及び製品	3,363	3,849
仕掛品	311	255
原材料及び貯蔵品	1,234	1,091
その他	250	119
流動資産合計	18,389	18,967
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	6,470	6,136
その他（純額）	2,911	2,877
有形固定資産合計	9,381	9,013
無形固定資産	50	45
投資その他の資産	924	961
固定資産合計	10,356	10,020
資産合計	28,745	28,988
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,066	2,761
短期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	371	236
役員賞与引当金	32	9
設備関係未払金	898	180
その他	1,063	1,244
流動負債合計	5,433	5,432
固定負債		
退職給付に係る負債	2,074	2,100
その他	808	787
固定負債合計	2,882	2,887
負債合計	8,315	8,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	15,748	15,959
自己株式	△14	△14
株主資本合計	18,247	18,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45	31
為替換算調整勘定	10	△33
退職給付に係る調整累計額	△46	△41
その他の包括利益累計額合計	8	△43
非支配株主持分	2,174	2,252
純資産合計	20,430	20,667
負債純資産合計	28,745	28,988

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,454	5,190
売上原価	3,829	3,904
売上総利益	1,624	1,285
販売費及び一般管理費	514	561
営業利益	1,110	724
営業外収益		
受取利息	—	0
受取配当金	13	3
スクラップ売却益	0	1
その他	0	0
営業外収益合計	13	4
営業外費用		
支払利息	10	9
撤去費用	0	19
その他	1	1
営業外費用合計	11	30
経常利益	1,112	698
税金等調整前四半期純利益	1,112	698
法人税等	237	166
四半期純利益	874	532
非支配株主に帰属する四半期純利益	122	114
親会社株主に帰属する四半期純利益	752	417

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	874	532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△13
為替換算調整勘定	△106	△80
退職給付に係る調整額	△5	5
その他の包括利益合計	△100	△88
四半期包括利益	774	444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	699	365
非支配株主に係る四半期包括利益	74	78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,598	1,030	1,698	5,327	126	5,454	—	5,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,598	1,030	1,698	5,327	126	5,454	—	5,454
セグメント利益	435	251	559	1,246	12	1,259	△148	1,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△148百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△148百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,436	1,081	1,547	5,066	124	5,190	—	5,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,436	1,081	1,547	5,066	124	5,190	—	5,190
セグメント利益	321	157	464	943	13	957	△233	724

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△233百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△233百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。